

金沢大学と(株)スギヨがごぼう堀体験等を通じて地域住民と交流

< 石川県 >

市町村・集落の名称	七尾市上沢野町
協働の相手(企業や大学等)の名称	金沢大学(金沢市) (株)スギヨ(七尾市)
仲介者・コーディネーターの名称	大学コンソーシアム(金沢市)
協働のポイント	ありのままに話し、出来ることはする。
協働のきっかけ ・経緯	平成 16 年からごぼう堀体験を通じて沢野ごぼうの理解を深めてもらった。その上で、ごぼうを守るためにごぼう堀のバックアップと「沢野ごぼう」の名称の地位保存が必要と思いい、協力にいたっている。
取組の具体的な内容	都市住民との交流を図るため、ごぼう祭の開催、ボランティアによる種植え、収穫体験、ごぼう券を配布しごぼうのプレゼント、空き家を貸出し学生との交流を図る。農家レストランでは、ごぼう料理を提供し好評を得ている。 また、体験農園では、外国人、地元幼稚園、大学生に、美しい自然を提供し、心の交流を深め、沢野ごぼうに愛着を深めてもらうことで、交流人口の拡大を図っている。
農村地域への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの参加者から参加費を徴収し、ビジネスとして活動している。 ・観光客などから沢野ごぼうが美味しいということを知ってもらい、農家の生産意欲が高まるなど、生きがいづくりにつながっている。 ・沢野ごぼうの販売量アップにより農業所得の向上が図られ、専業農家の増加や雇用が創出される。
都市部の主体(企業や大学等)への効果	学生は、地元の人たちとの交流等により、農村や沢野ごぼうに対する理解が深まった。
仲介者等の役割	大学コンソーシアムと沢野ごぼう生産組合等との長期共同計画の作成。
今後の課題	大学コンソーシアムを通じて各大学生たちがもっとバックアップを取れる組織固めが求められる。

	地元の受け入れ態勢の見直し。
関連事業（国・都道府県等）	中山間地域等直接支払事業（農林水産省）、棚田保全対策事業（農林水産省）

（活動状況写真等）

